

令和3年度（2021年度）

学校評価報告書

令和4年（2022年）6月

八王子市立看護専門学校

令和3年度（2020年度）学校評価

本校は、看護師として必要な知識・技術・態度を養い、保健医療福祉チームの一員として社会に貢献できる有能な人材の育成を目的としている。

八王子市立看護専門学校学則（以下「学則」という。）第8条に基づき教育の充実を図り、学校の目的・目標を達成するために学校における教育活動の状況と学校運営について、評価項目を9つの大項目に分け、さらに各項目について複数の小項目を設け、昨年度に引き続き専任教員による評価を行った。

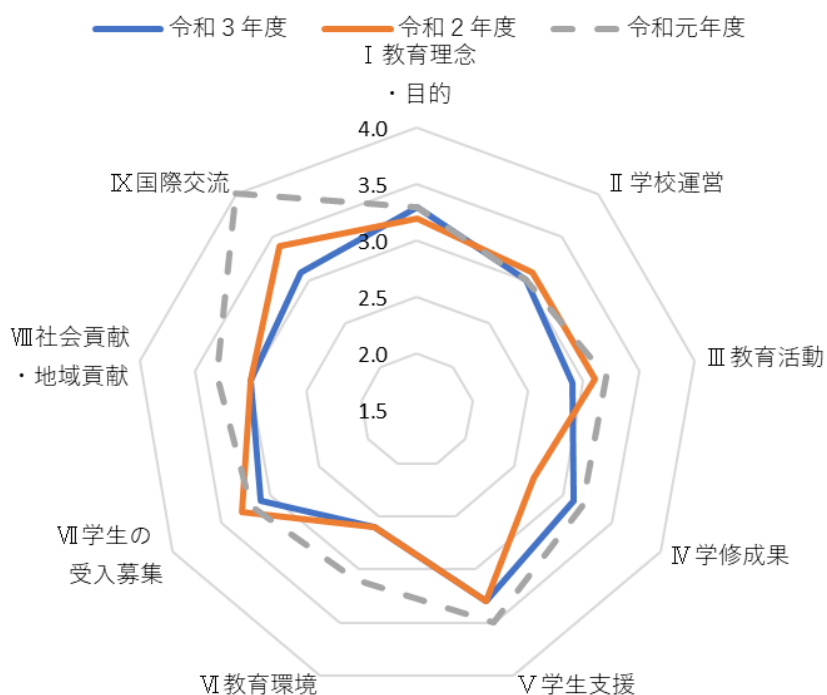
自己評価

評価項目	I 教育理念・目的	II 学校運営	III 教育活動	IV 学修成果	V 学生支援	VI 教育環境	VII 学生の受入募集	VIII 社会貢献・地域貢献	IX 国際交流
令和3年度	3.3	3.0	2.9	3.1	3.3	2.6	3.1	3.0	3.1
令和2年度	3.2	3.1	3.1	2.7	3.3	2.6	3.3	3.0	3.4
令和元年度	3.3	3.0	3.2	3.2	3.5	3.1	3.2	3.3	4.0

※評価基準【4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切】

【参考】学生による評価

評価項目	V 学生支援	VI 教育環境	VII 学生の受入募集	VIII 社会貢献・地域貢献	IX 国際交流
1年生	3.5	3.1	3.6	3.3	3.5
2年生	3.2	3.2	3.6	3.3	3.5
3年生	3.4	3.4	3.7	3.6	3.7
平均	3.4	3.2	3.6	3.4	3.6



I 教育理念・目的

【自己評価】 評価点 3.3

教育理念・目的・目標は教育要項に示し、入学希望者への説明会や市ホームページなどで周知している。また、入学時のオリエンテーションにおいて説明するとともに、在校生には日々の講義や実習前など折を見てその内容の共有に努めている。

教育理念等は本校の教育活動の指針となっており、今後、設置者である八王子市の状況を見ながら、社会の変化や医療をとりまく環境の変化を見据え、第5次カリキュラム改正について、当校の特徴を生かしながら、対応していく。

令和3年度（2021年度）においては、コロナ感染症拡大防止の観点から、学校説明会（オープンキャンパス）を中止した代わりに、定員制学校説明会を実施し、入学希望者に対して、本校の教育理念を説明した。教育目標等については、新入生ガイダンス（4月上旬）で説明したほか、日々の講義の中でも触れる機会を設け、教育理念等の理解が深まるよう努めた。引き続き、機会あるごとに教員、学生への共有化を図っていく。

【学校関係者評価・意見】

市立の看護学校であるという特色・特徴を強調するような学校の案内、説明をすることが必要である。

また、学校説明会は、在校生と話しができる良い機会であるので、コロナ禍において、実施できたことは、評価できる。

II 学校運営

【自己評価】 評価点 3.0

本校は、教育目的である看護師として必要な知識、技術、態度を養い、保健医療福祉チームの一員として社会に貢献できる有能な人材を育成するための運営方針を策定し、運営組織や意思決定機能は、学則等において明確化している。

学校運営に関しては学則に沿って、昨年同様、年4回の運営委員会議や定期的な教員会議を開催し協議している。

昨年同様、教育活動等に関する情報公開については、学校案内及び市ホームページにより行っている。今後は八王子市の公式 YouTube 等を活用するなど、新たな広報媒体を活用した学校の周知に取り組んでいく。

【学校関係者評価・意見】

学生がホームページやネットワークシステム等から授業の情報を簡単に入手しやすくなるよう、学生の立場にたった仕組みを検討してもらいたい。

Ⅲ 教育活動

【自己評価】 評価点 2.9

地域に根差し、地域の人々の健康と福祉に貢献できる看護師を育成する教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等を策定している。

教育理念・目的・目標に沿った教育内容の見直しは、令和2年度（2020年度）から開始した学生からの「授業評価」を基に、専任教員・外部講師との意見も踏まえ、参考に行っている。また、国家試験出題基準を確認しながら、医療をとりまく諸問題にも目を向け、年度末には授業内容の改善を図っている。

単位認定や・卒業判定の基準は学則に沿って明確に行われている。また、講義実施に当たり、専門分野領域で活躍されている臨床の認定看護師・専門看護師など優れた講師を招き、実施している。

専任教員については、専門分野に配慮し配置するとともに、それぞれの専門性を生かした教員間の情報共有に努めている。

令和3年度（2021年度）は長期化するコロナ禍においても継続して授業が行えるようオンラインの遠隔授業も取り入れた。

教員の能力開発のための学会・研修会等は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、参加ができなかった。

引き続き、学生へのアンケートによる授業評価を実施するなど、質の向上を図っていく。

【学校関係者評価・意見】

コロナ禍においても、単位認定、卒業認定に関する到達目標を変えずに、臨地実習の代替で、実習に即した学内演習、モデル人形を使用した模擬演習を実施。また、三密を避けるため、地域の会場や東京医大八王子医療センターの会議室を借り、学内でも学生を分散させたビデオ授業を実施するなど、工夫をされている。

Ⅳ 学修成果

【自己評価】 評価点 3.1

第111回看護師国家試験結果の全国的な合格率は91.3%であるのに対し、本校は97.5%であり、全員合格には至らなかったものの昨年に比べ、合格率が大きく向上した。

コロナ感染症の影響もあり、市内の病院による就職説明会は実施できなかったが、公立学校としての使命を学生に周知しており、令和3年度（2021年度）は八王子市内の医療機関への就職率は84.2%となっている。また、八王子市外の病院への就職を希望する学生にはその理由を明確にし、副校長・アドバイザーとの相談のもと支援を行っている。

令和3年度（2021年度）の退学者については、進路変更による1名であった。

卒業時に保健師助産師看護師法にある「診療の補助」の強化を図る目的で、看護技術の与薬の技術確認を補講として実施した。

令和2年度からの改善点で、早い段階からの国家試験対策を実施した結果が、国家試験合格率向上につながったと考えられるため、模擬試験において成果の出ていない学生には、夏休みを利用したり、卒業試験終了後からの補講を実施し、指導を強化することで合格率100%を目指す。また、卒業生の動向を参考に卒業後を見据えた学生指導を行っていく。

【学校関係者評価・意見】

今後も国試合格率100%を目指し、市内就職率の維持・向上に期待する。

V 学生支援

【自己評価】 評価点 3.3

アドバイザー制を採用し、一人の教員が1～3学年18名前後の学生を担当し、教員は学校生活全般の指導や就職・進路相談など、細やかな個別性に合わせた指導を行った。また、成績不良の学生には成績担当、及びアドバイザーの教員により、その学生の学習方法の見直しや今後の対策などを指導するとともに、状況によっては保護者と面談を実施し協力を依頼している。

健康管理体制については、学校保健安全法に基づき全学生への健康診査を年1回実施するとともに、精神的な不安が生じた学生に対しては、学校負担により専門医を紹介している。

修学資金等の経済的な支援については、各種奨学金制度の利用や八王子市独自の修学支援制度利用について、きめ細かく周知するなど相談支援体制を整備している。

今後は、学生指導等に関する方向性を明確にするとともに、さらなる教員間の情報共有を図ることなどによりアドバイザー制をさらに充実させる。また、学生からの意見として、OB、OGとの交流を望む声が挙がっていることから、同窓会との連携による卒業生との交流の場や支援の方法を検討する。

【学校関係者評価・意見】

経済的な理由で修学を断念することの無いよう、継続的な学生支援が必要。

また、2,000人の卒業生という人財を活かせる仕組みを検討してもらいたい。

VI 教育環境

【自己評価】 評価点 2.6

開校から40年以上が経過し施設本体や各種設備も老朽化したことから、令和2年度(2020年度)から3年度(2021年度)にかけて大規模改修工事を実施し施設の延命化を図った。

令和2年度は、屋上防水工事と外壁改修工事を実施。令和3年度は校内の建築、給排水衛生、空調、電気工事を実施し教育環境を整備した。しかし、工事による騒音や空調が使用できない期間もあり、学生にとっては、良い教育環境ばかりではなかった。

コロナ感染症による緊急事態宣言発出を受け、遠隔授業の実施などを行い、できる限り授業の継続を図った。感染症拡大防止に向けて、マスクの着用、手洗い、消毒の徹底など指導に努めたこともあり、学生、教員ともに感染者を出すことはなかったが、コロナ禍の状況下で実習受入れ施設が減少し校内実習を余儀なくされる面もあった。このため学内実習の充実を図ることを目的としてシミュレーション教材等を新たに購入することで対応した。

次年度以降もコロナ感染症拡大による対応を想定し、学内実習による到達目標達成への対応とともに、状況に応じたオンライン授業への対応を図る。

※ シミュレーション教材：臨床に近い状況に合わせて模擬的に再現した装置または教材

【学校関係者評価・意見】

講師としてオンライン授業を体験したが、学生の顔が見えない点など、不安な面もあった。なるべく対面での授業が望ましいと感じた。

VII 学生の受入募集

【自己評価】 評価点 3.1

学生募集に関してはコロナ禍の影響で、予定していた学校説明会(オープンキャンパス)は中止とし、代わりに定員制学校説明会を5回実施した。しかし、工事との兼ね合いで日程が決まらず、周知期間を十分に取れなかった。実施にあたっては、感染対策に配慮しつつ個別的な学校説明・見学者の受入れを随時行い、入学希望者に対する丁寧な対応に心がけた。また、広報のみでなく、八王子市の公式 YouTube 等も活用し周知に努めたほか、高校訪問や高校生への進路相談会へ積極的に参加した。

入学試験に際しては、社会人、一般ともに感染者への配慮から予備日を設け、感染リスクを回避するとともに、体調不良者への対応を考慮し実施した。

少子化傾向が進む中、看護大学が増設されており、看護専門学校への入学志願者の減少が懸念される。このため公立の学校としての本校の特色をさらに明確にし、社会人の受け入れや費用負担の面など検討を加え、さらなる地域の医療や社会に貢献する人材の確保に取り組む。

【学校関係者評価・意見】

授業料など低コストで3年間学ぶことができるのはメリットだと考える。

市立の専門学校で学ぶメリットを強調し、積極的な人材確保への取り組みを継続していただきたい。

Ⅷ 社会貢献・地域貢献

【自己評価】 評価点 3.0

コロナ感染症の影響もあり、例年実施している市民を対象とした「公開講座」は中止とした。また、八王子市総合防災訓練をはじめ東京医大八王子医療センター、東海大学八王子病院等の防災訓練への学生の参加や高尾山の清掃活動などボランティア活動も中止とした。なお、教育委員会からの依頼による「養護教諭研修」は実施し、参加者からは良い評価を得ている。

コロナ感染症の状況を踏まえたうえで、公立の学校として地域との関わり深めるため、引き続き積極的なボランティア活動等の取組を行っていく。

【学校関係者評価・意見】

学校運営の財源には市民の税金が活用されているため、国家試験の合格率や市内医療機関への就職率を高いレベルで維持し、地域に貢献をしていくべきと考える。

Ⅷ 国際交流

【自己評価】 評価点 3.1

当校の独自科目でもある「国際文化交流」の授業の一環として、例年八王子市の海外友好交流都市である台湾高雄市を訪問し、現地医療施設の見学や中国語を用いた看護学生との交流を行っている。しかし、昨年に引き続き令和3年度（2021年度）もコロナ禍において研修旅行は実施できなかった。

その代替えとして、例年通りの中国語の講義以外にも、各自で事前学習として台湾の歴史や文化を調べた後、旅行会社の協賛を得ながらリモート観光・お茶セミナー・台湾料理の試食・台湾からの留学生との交流会など実施した。学生からの声として講義内容が充実しているとの評価が多く、科目目標は達成できたと考える。

コロナ感染症拡大により令和4年度（2022年度）も海外友好交流都市への研修旅行は中止とするが、教育課程の趣旨を踏まえた科目の内容を検討する。

【学校関係者評価・意見】

特に意見なし。

令和3年度（2021年度）学校評価報告書
令和4年（2022年）6月発行

発行 八王子市立看護専門学校
〒193-0944 八王子市館町 1163 番地
電話 042-663-7170 FAX 042-662-9691